

# 活用調査表

様式6

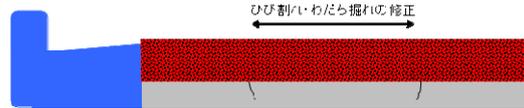
技術名 <b>加熱表面処理工法(ヒートドレッシング工法)</b>	登録 No.
	20D1013

<b>施工内容</b>	
施工年度	平成20年度
発注機関	村上地域振興局地域整備部
工事名	一般国道290号 県単舗装道補修 加熱表面処理工
施工地	村上市上助測
施工数量	加熱表面処理工法 A=757m <sup>2</sup>

(ひび割れ、わだち掘れのある路面)



(ヒートドレッシング工法による補修)



**新技術の概要**  
ひび割れやわだち掘れなどの発生により、傷んだアスファルト舗装路面の走行性の改善を目的とした表面処理工法。路面の破損が拡大しないうちに実施することにより、舗装寿命の延命化も期待できる。

**トライアル工事での評価結果**

比較した従来技術	切削オーバーレイ工法	
項目	評価	評価内容
経済性	○	従来工法に比べ、約16%のコスト縮減。
工程	○	従来工法に比べ、約20%の工期短縮。
品質出来形	□	新規アスファルトと同等の品質に再生するものではないが、加熱・かきほぐしによりクラック幅を閉塞させ、リフレクションクラックを抑制する効果がある。
安全性	□	機械編成は、切削オーバーレイ工法とほぼ同等。
施工性	○	路面加熱～転圧まで一連で施工でき、施工性が良い。今回の現場では、気象の影響は受けずに連続施工ができた。
環境	◎	切削廃材の発生がない上、新規アスファルト混合物の使用量も1/3と少なく、切削オーバーレイに比べ環境性能は大きく向上している。
その他		

◎: 優れている    ○: やや優れている  
□: 従来技術と比べて同程度  
△: やや劣っている    ×: 劣っている

活用上の留意点	路面に支障物(マンホール、弁等)が多い箇所は施工が困難。路面温度が低いと、ヒーター車が多く必要となる。
---------	---

**新技術問い合わせ先**

会社名	福田道路(株)新潟本店
所属部課	技術部
担当者	本間良信
TEL	025-231-1218



路面加熱状況



乳剤散布、かきほぐし、新材敷均し



転圧状況(一次、二次)